



発行／特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1 豊橋商工会議所内
Tel 080-6923-5257 URL <http://www.asakuragawa.net>
Fax 0532-53-7210 E-mail hotaru@asakuragawa.net

明けましておめでとうございます

治水・利水・親水を経て、多様な植物や生き物を宿す水を育むための活動を少しずつ積み重ねてきました。

「朝倉川 530 大会」や「朝倉川植樹大会」からスタートした「植樹メンテナンス大会」などは創立当時からの継続事業です。

これらの活動は地域に対しての認知度の広がり、530 大会に至っては参加者 3,000 人に上る大事業に成長させていただいたということもあります。

当初、ピオトープという言葉そのものもわからず、関わり方も手探り状態でした。ピオトープに見学にきてもらったりする中で自然との付き合い方を学びました。そして活動している中で学校や地域にもピオトープが出来はじめ、市内にもピオトープが根付いてきました。環境や自然に市民のみなさんの目も向けられるようになり、関心も高まってきています。

そんな中フォーラムのピオトープでは、今までは整備活動が主要な活動でしたが、里山や自然の中での子育ての場所としての利用がされるようになってきました。これから新しい活動の展開が期待されます。

継続はチカラなり・・・「川」一人でも多くの関心を持っていただくために、これからも、様々な活動をしていきたいと思えます。

本年も、朝倉川育水フォーラムの活動に御支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。

第15回

植樹メンテナンス大会開催

平成29年11月11日(土)第15回の朝倉川植樹メンテナンス大会が開催されました。

心配された天候は開催時には太陽も顔を出し、心地よい汗をかく陽気になりました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



参加団体は21団体、350名でした。枝とごみの量は合わせて2t。

植樹メンテナンスを行う区間は多米小学校の通学路で市民のみなさんの憩いの散歩コースになっています。これからも気持ち良く歩けるようメンテナンスをしていきましょう。



<2017年朝倉川へのメッセージ最優秀作品>



2017年活動日誌

4/1 ビオトープ作業初め（作業は毎月第1土曜日）

新年度はじめての作業。今年は少し寒かったのかカエルの卵はありませんでしたが、その後いつもの年より多くの卵が生まれていました。ウシガエルも産卵したようで、この子たちとどう共生したらいいか？



4/15 第21回朝倉川530大会

参加人数64団体、2000人、ゴミの量は1.9tでした。水ぬるむ桜満開の中で春の恒例行事になったゴミ拾いをみんなで楽しみながら実施しました。

第22回は2018年4月21日（土）



5/10 朝倉川へのメッセージ審査

530大会の併催のイベントとして、毎回たくさんの応募をいただく「朝倉川へのメッセージ」。はがきに込められた思いを読みながら、思わず共感してしまう作品や表現のすばらしい作品に審査員から感嘆の言葉。



5/28、7/23、11/5 朝倉川河川調査

多米町の源流から豊川との合流点まではわずか8km。川の姿は大雨が降ったりすると変わってしまいます。そこに棲む生き物たちもその都度住居？の変更を余儀なくされています。そんな彼らを見つけ出す楽しみも

6/3 田植え

前年張ったネットの効果でたんぼの稲は無事でした。今年は自信をもつての田植えです。その後、小さな田んぼは水路が枯れて水が供給されなかったり、パイプが壊れたり苦戦が続きました。



6/17 総会

「朝倉川流域ビジョン2015」を指針に新たな活動をめざす1年です。活動の充実と未来を支える世代への啓蒙にも一層の重点を置いた活動の継続が提案されました。6/3 プレイベントのホタル観察会実施。

7/23 朝倉川探検隊

くもり空でしたが、70名を越す参加者がありました。うなぎや婚姻色のオイカワ、カワムツ、テナガエビなどを見つけました。川に入るとこんなにたくさんの生き物が朝倉川にいることを実感しました。



9/2 ローターアクトさん協働

若いメンバーがたくさん参加してくれて、この日のビオトープはテキパキと作業が進んでいきます。終了後は鳥の丸焼き、ポテトグラタン、ラムチョップ、焼きバナナの超豪華野外料理。ヒメ们好を7匹発見。

*** 活動日誌つづき…**

9/25 東田小学校さん体験学習

「朝倉川の生き物を調べてみよう」というテーマで川でガサガサ体験。みんなで川に。最初はソロソロ、そのうちじゃぶじゃぶ、最後はガサガサ。つかまえた生き物を展示して名前を調べました。



10/27 東田小学校さん体験学習

2回目の体験学習は源流へ。市電の終点から朝倉川沿いを歩いてピオトープへ。ピオトープの意義を勉強し、さらに里山のエリアまで行って森の大切さや生き物たちの事を学びました。

10/12 こどもの料理教室さん

自分たちでBQの準備をして、デザートも作って。それよりもカエルやカニを探したり、未来の森で遊んだり…初めての場所に子どもたちは大興奮。その後多米峠のパラダイスまで遠足に。



11/4 収穫祭

まずみんなで稲刈をしました。その後足踏み式の脱穀機で「アッ」と言う間に脱穀。家でそれぞれお餅に挑戦するために、持ち帰りました。お昼は自分で作ったピザを焼いて食べました。

11/11 第15回植樹メンテナンス大会

天候が心配されましたが、開催時間までには太陽も顔を出し、心地よい汗をかく陽気になりました。20団体 300名の参加でした。ご参加頂いたみなさま、ありがとうございました。



9/17, 18 里川リーダー養成講座

里山という言葉は定着しつつあります。里川というのはまだなじみがありませんが、身近な川も恵みを実感し引き継いでいくための勉強会です。朝倉川やピオトープを見学してもらいました。



1月6日。ピオトープの仕事始め。草はそれほど伸びていないものの水路の整備やたんぼの畦の修理、古損木の処理。破れて水漏れしているかもしれない防水シートの確認など。冬のこの時期だからこそやりたい作業があります。

お借りしている倉庫に道具を取りに行ったところ大変な事に！草刈り機やチェーンソーがなくなっていたのです。倉庫に鍵はかかってなかったのですが、草刈り機やチェーンソーに鍵はしてあった…のです。もう5年以上も使っている、ピオトープの作業になくてはならない物です。昨年はイノシシの被害もそれ程ではなく済んで収穫祭を終えたところの、新年早々の出来事でした。

ピオトープに草刈り機がなくてはそれこそ仕事になりません。

新しい機械を検討中です!!合わせて防犯対策も!!



理事長 高橋 豊彦

朝倉川育水フォーラムでは、平成16年より井原町の「井原第二公園」でのビオトープづくりに協力してきました。このビオトープは、「住宅街のなかにある」という立地と「生態系ネットワークの拠点」としての機能を両立させた、「新しいビオトープの形」を示していく・・・というものでした。



「まちなかの立地でもホタルが飛ぶ」・・・という思いが強く、ホタルの飛翔時間帯での生活光の影響など、「ホタル最優先」の志向が強くなりすぎたゆえに、様々なところで多くの「べき」をそれぞれの立場で作りだしてしまっただけでも事実だと思います。このことは、本来の目的である「身近な自然としての地域の憩いの場」とは程遠いものになってしまいました。

この公園は豊橋市が管理運営し、基本的なコンセプトについて提言をさせていただいたり、一緒に議論する形で進めてきました。数年前から、豊橋競輪場の前でホタルが飛翔するようになりました・・・

「河川調査」の時にも、思わぬところでホタルの幼虫を見る機会が増えました・・・

この事は、私たちが今まで考えてきた「ホタルに対する常識」を少々考え直さなければ・・・

というきっかけをいただきました。今までの「べき」を取り払い、「地域の人たちに愛される身近な自然」のなかにもあります、「人」という視点をもう一度考え直し、ふらっと立ち寄れる「水辺の憩いの場」に生まれ変わる様、色々提言をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



ビオトープでは毎年ホタルが舞います。でもここは手入れをしないとたちまち雑草に覆われ、原野になってしまいます。月1回のメンテナンスでは出来ることにも限りがありますが、毎月楽しみながらやっています。ぜひ、遊びに来て下さい。



SNS、facebookのページ

ぜひご覧ください

会費納入のお願い

会費未納の会員様に会費納入の振込み用紙を同封させていただきます。ご納入をお願い致します。直接事務局までお持ちいただいても結構です



2018年度 行事予定

毎月第1土曜	ビオトープ作業
4月7日	ビオトープ春の観察会(予定)
6月2日	ビオトープホタル観察会・田植え(予定)
4月21日(土) (雨天順延)	第22回朝倉川530大会
6月2日(土)	ほたる観察会(予定)
6月9日(土)	総会
7月29日(日)	朝倉川探検隊(予定)



* 全てのお申込み・お問い合わせは *

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 080-6923-5257

FAX 0532-53-7210

URL <http://www.asakuragawa.net>

E-mail hotaru@asakuragawa.net